

令和元年度第1回上越市高齢者見守り支援ネットワーク会議 次第

日 時：令和元年11月21日(木) 14:00～15:30

会 場：上越市市民プラザ 第4会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 当市の高齢者の現状と2025年を見据えた今後の推移について 【資料1】

(2) 高齢者見守り支援の強化に係る具体的な取組内容の進捗状況について

【資料2、2-1、2-2】

(3) その他

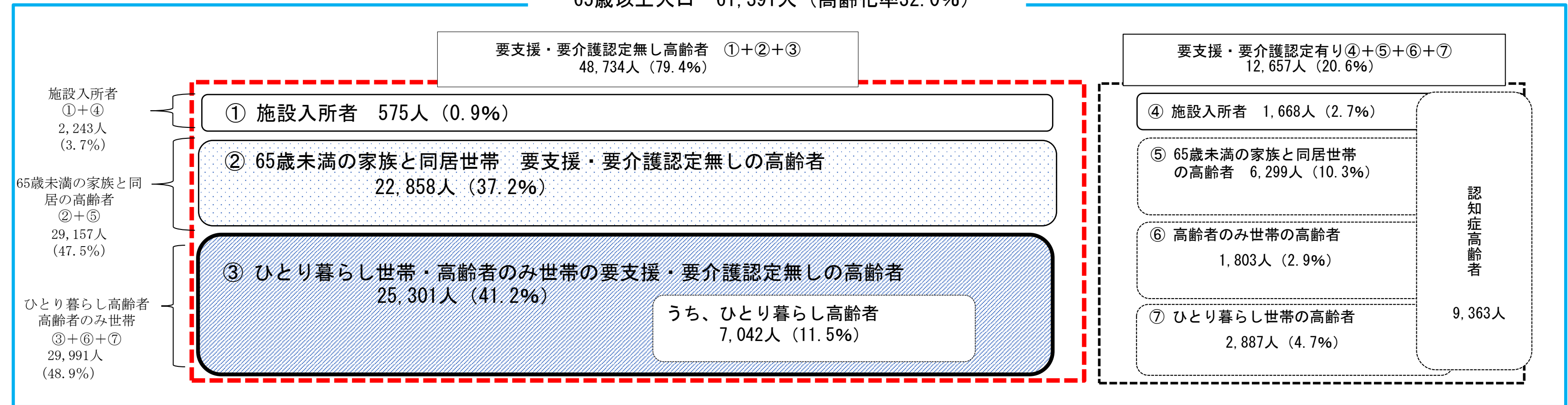
4 閉 会

当市の高齢者の現状と2025年を見据えた今後の推移について

資料 1

○現状（令和元年9月1日現在）

65歳以上人口 61,391人（高齢化率32.0%）



○高齢者人口等の今後の推移（第7期介護保険事業計画の値を主に使用）

- ・当市の総人口が減少する中で、高齢者人口が増加し、2021年（令和3年）にピークとなり、その後減少に転じると見込んでいます。
- ・高齢者単身・高齢者のみ世帯の人数は、核家族化、少子高齢化などの事象も影響し、ますます増加するものと見込んでいます。
- ・高齢化の進展に伴い、認知症高齢者数は増加傾向にあり、2025年（令和7年）には1万人を超える見込みとなっています。

区分	H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R7 (2025)
総人口（人）	195,459	193,517	191,665	191,036	189,438	187,781	182,487
高齢者人口（人）	60,395	61,020	61,391	61,909	62,013	61,976	61,336
前期高齢者（人）	28,720	29,074	29,094	29,439	29,929	28,966	25,562
後期高齢者（人）	31,675	31,946	32,297	32,470	32,084	33,010	35,774
高齢化率（%）	30.9	31.5	32.0	32.4	32.7	33.0	33.6
要介護（支援）認定者（人） （第1号被保険者のみ）	12,300	12,518	12,657	12,633	12,796	12,970	13,213
要支援1・2	2,631	2,775	2,898	2,666	2,678	2,702	2,737
要介護1・2	4,925	4,987	4,964	5,173	5,229	5,299	5,396
要介護3・4・5	4,744	4,756	4,795	4,794	4,889	4,969	5,080
認定率（%）	20.4	20.6	20.7	20.4	20.6	20.9	21.5
認知症高齢者数（人）	9,009	9,342	9,363	9,579	9,684	9,789	10,104
65歳以上人口に占める割合（%）	14.9	15.3	15.3	15.5	15.6	15.8	16.5
認定を受けていない高齢者（人）	48,095	48,502	48,734	49,276	49,217	49,006	48,123
高齢者単身・高齢者のみ世帯（人）	28,634	29,962	29,991	30,825	31,305	31,786	33,232

※上表の平成29、30年の数値は10月1日現在。令和元年の数値は9月1日現在。令和2年以降の数値は推計値。

高齢者の見守り支援の強化に向けた具体的取組内容の進捗状況について

資料 2

取組の柱	取組の方向性 (第8期高齢者福祉計画書 P71に掲載)	今後の取組を考えるに当たっての視点 (ねらい・目標など)	具体的な取組内容	進捗状況
1. 地域での見守り活動の更なる深化	<p>・高齢者見守り支援ネットワーク会議構成団体による積極的な声かけ訪問などと同時に、家族との同居世帯を含め高齢者を広く対象として、地域ぐるみでの日常的な見守り活動を支援します。</p> <p>・地域で行われている見守り活動の実例を広く町内会等に紹介し、新たに見守り活動が行われる地域を増やしていきます。</p>	<p>○ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯に加え、日中独居高齢者や地域包括支援センターや民生委員・児童委員の訪問を拒んでいるケースなど、地域との関わりの薄い高齢者等の孤立死の防止・対応の強化を図るため、地域ぐるみでの日常的な見守り活動の促進を図る。</p> <p>○地域包括支援センターや民生委員・児童委員など地域における見守り体制や相談先について、地域住民全体に周知を図る。</p>	<p>○地域の実情に合った見守り支援の検討の場を設ける。</p> <p>・高齢者見守り支援ネットワーク会議の構成団体である町内会、民生委員・児童委員、関係機関・団体、行政に加え、地域包括支援センターや住民組織（地域支え合い事業受託団体）等の参画を得て、地域の実情に合わせた形（28の地域自治区単位などの地域）で、見守り支援の充実について検討する場（仮称「見守り支援検討会」）を設け、それぞれ取り組んでいる見守り活動をつなぎ合わせ、より効果的な地域全体での日常的な見守り活動を促進する。</p> <p>○地域における見守りの輪（地域の力）をつなげ、広げる。</p> <p>・地域における見守り体制や相談先を記載したチラシを作成し、支援が必要な人への訪問時に配布して関わりの機会を作るとともに、地域での見守り意識を高めるため、各戸に配布する。</p> <p>・地域における見守り体制の協議や地区・町内会の集まりなどの機会に、元気な高齢者が支援を必要とする高齢者を支える地域づくりへの理解を深めてもらえるよう普及啓発を行う。</p>	<p>資料2-1のとおり</p>
2. 協力事業所との連携強化	<p>高齢者等見守り協力事業所との意見交換等を通して、連携強化を図ります。</p>	<p>○高齢者等見守り協力事業所による意見交換会を開催し、各事業所が取り組んでいる見守り活動や命を救えた事例、取組のノウハウ等を事業者間で共有する等により、見守り活動の実効性の向上につなげる。</p> <p>○シルバー人材センターが新たに高齢者等見守り協力事業所として登録し、意見交換会に参加することにより、見守り活動の担い手としての役割に加え、見守られる高齢者側の視点からの意見などを今後の見守り活動に役立てる。</p>	<p>○高齢者等見守り協力事業所による意見交換会を開催する。</p> <p>・市の重点取組事項である高齢者見守り支援の強化についての説明</p> <p>・各事業所によるこれまでの見守り活動や命を救った事例の紹介</p> <p>・見守り活動における課題などについての意見交換</p> <p>・認知症サポーター養成講座の受講勸奨（見守り協力事業所スタッフの意識の一層の向上とスキルアップ）</p>	<p>・平成30年10月31日に高齢者等見守り協力事業所による意見交換会を開催した。参加事業所及びいただいた主な意見は資料2-2のとおり</p>
3. 地域福祉の担い手としての元気な高齢者の活動推進	<p>地域住民の支え合いとして、元気な高齢者自らが地域福祉の担い手となり、地域との交流の機会を増やすなど、支援を必要とする高齢者を支える地域社会づくりにつながる取組を進めます。</p>	<p>○地域の高齢化が進展する中、元気な高齢者が支援を必要とする高齢者を支える役割を無理なく担える環境づくりを進める。</p>	<p>○シルバー人材センターが新たに高齢者等見守り協力事業所として登録し、会員に対し元気な高齢者が支援を必要とする高齢者を支える地域づくりへの理解を深めてもらえるよう普及啓発しながら、認知症サポーター養成講座などの受講につなげ、地域福祉の担い手としての役割を担う。</p> <p>○老人クラブへの加入や通いの場への参加など、積極的な声掛けを行うことにより、引きこもり防止につなげる。</p>	<p>・平成30年9月に上越市シルバー人材センターから高齢者等見守り協力事業所として登録いただいた</p>

合併前上越市

No.	地域自治区	「地域での高齢者見守り活動の更なる深化」に向けた検討・取組の進捗状況
1	高田区	<ul style="list-style-type: none"> ・R1年8月南城町1～4丁目を対象に地域ケア会議を上越地域センター病院地域包括支援センター主催で実施。町内会長、民生委員等が参加。市及び上越市社会福祉協議会が見守り支援を必要とする背景、見守り支援の要領等を説明。 ・R1年8月東城町2、3丁目、仲町2丁目、大町2丁目、寺町1丁目を対象に地域ケア会議を上越地域センター病院地域包括支援センター主催で実施。町内会長、民生委員等が参加。市及び上越市社会福祉協議会が見守り支援を必要とする背景、見守り支援の要領等を説明。
2	金谷区	<ul style="list-style-type: none"> ・R1年9月中通町を対象に地域ケア会議をみんなでいきる地域包括支援センター主催で実施。町内会長等が参加。市が見守り支援を必要とする背景、見守り支援の要領等を説明。
3	春日区	<ul style="list-style-type: none"> ・R1年7月地域ケア会議をリボン地域包括支援センター主催で実施。町内会長、民生委員等が参加。市が見守り支援を必要とする背景、見守り支援の要領等を説明。
4	和田区	<ul style="list-style-type: none"> ・市、上越市社会福祉協議会、二水福祉クラブ（住民組織）で今後の見守りの充実について協議を実施（H30年9月）。 ・見守り支援の住民勉強会の開催へ向けた協議を実施（H30年10月）。 ・「和田地区見守り学習会」を二水福祉クラブの主催で全5回実施（R1年7月、8月、10月（2回）、11月）。市（テーマ：高齢者の見守り支援の強化について）及び上越市社会福祉協議会（テーマ：地域におけるお互いさまの”見守り合い”）が講師を担った。
5	三郷区	<ul style="list-style-type: none"> ・H31年2月地域ケア会議をみんなでいきる地域包括支援センター主催で実施。町内会長、民生委員等が参加。市が見守り支援を必要とする背景、見守り支援の要領等を説明。
6	保倉区	<ul style="list-style-type: none"> ・R1年7月地域ケア会議をふもと地域包括支援センター主催で実施。町内会長、民生委員等が参加。市が見守り支援を必要とする背景、見守り支援の要領、認知症対応等を説明。

※他の9区については、地域ケア会議を主催する地域包括支援センターに当該検討・取組の主旨を説明済。

13区

No.	地域自治区	「地域での高齢者見守り活動の更なる深化」に向けた検討・取組の進捗状況
1	安塚区	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員協議会定例会において、高齢者見守り活動について検討を行い、次の意見があった。なお、今後、更に検討を進めることとしている。 （主な意見） ・高齢者に限定せず、障害者や子ども、課題を抱える世帯など地域全体を見守る方向で取り組む必要がある。 ・様々な団体、関係機関等が同じような取り組みや啓発活動を行っている。見守る体制や人材に限られる中、より効果的、効率的に取り組む環境づくりが必要である。 ・近隣住民との関わりが見守りの体制の基本であるが移住者や地域との関わりのない方の見守り環境づくりが特に課題である。
2	浦川原区	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全4会場で町内会長に情報提供。 ・民生委員・児童委員協議会定例会での情報提供並びに、担当地区における地域との関係が希薄な住民の有無を確認。 ・社会福祉協議会と民生委員・児童委員協議会による一人暮らし高齢者への訪問活動。
3	大島区	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会長連絡協議会での情報提供を行った。 ・民生委員・児童委員協議会定例会での情報提供を行った。 ・定例月例会（行政・社協・包括など）における情報共有と連携強化を確認。
4	牧区	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会長連絡協議会での情報提供。 ・民生委員・児童委員協議会定例会での情報提供。

No.	地域自治区	「地域での高齢者見守り活動の更なる深化」に向けた検討・取組の進捗状況
5	柿崎区	<ul style="list-style-type: none"> ・主に孤独死防止を目的に、民生委員・児童委員から協力してもらい、区内の65歳以上の一人暮らし高齢者リストを作成。リストには、福祉サービス利用の有無や隣近所との交流の有無等の情報を掲載。民生委員に配布し、各担当地域での訪問や見守り活動に活用している（H30.12月～）。 ・地域における見守り体制の強化を目的に、啓発チラシを全戸配布（県の高齢者見守り強化月間に合わせ、H31.2月に実施）
6	大潟区	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員が担当地区において地域との関係が希薄な住民の情報を収集。地域包括支援センターへ情報が入った場合も情報共有等連携する。 ・システムにて、地域との関係が希薄である可能性がある住民（住基上の高齢者一人暮らし世帯、それ以外の世帯で高齢者一人世帯と同様な状況と思われる世帯等から福祉サービス等を受けていないなど、関係機関と関わりを持たない住民）をピックアップ中。
7	頸城区	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議において「孤立解消に向けた地域の見守り活動」をテーマに町内会長、民生委員、介護関係事業所、行政等が研修及びグループワークを実施（開催日：平成31年3月6日、令和元年10月24日、28日、11月6日 合計4回実施） ・民生委員・児童委員協議会定例会で地域包括ケアシステム及び見守り体制の研修会を実施（令和元年6月定例会） ・民生委員・児童委員から地域で支援が必要と思われる家庭の情報提供をいただき、地域包括支援センター等と連携しながら対応。（随時） ・地域包括支援センターと個別困難ケースについて情報共有し連携強化（開催日：令和元年7月4日）
8	吉川区	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員児童委員から、孤立しているなど見守りが必要と思われる人の状況を聞き取り、さらなる見守りを依頼（地域包括支援センターと連携しながら対応）。 ・地域包括支援センターとの連携強化。 ・H31.4.1地域における高齢者見守りの意識付けを目的に、町内会長を通じて高齢者見守りに関する啓発チラシを区内全世帯に配布。
9	中郷区	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員協議会定例会での情報提供及びさらなる見守りを依頼。 ・地域包括支援センターとの連携強化。
10	板倉区	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員協議会定例会のつど、孤立などで見守りが必要であると思われる方の市への情報提供を依頼。 ・民生委員へ個別ケースの見守りの体制（町内会や民生委員との交流等の有無）について調査を依頼し、調査結果を集計中。 ・地域包括支援センターとの連携強化。
11	清里区	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員協議会定例会にて「高齢者見守り支援ネットワーク」について説明。 ・町内会長連絡協議会にて区内の全町内会に説明。 ・啓発チラシを全町内会にて回覧し周知。
12	三和区	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における見守り体制の強化を目的に、啓発チラシを全戸配付（1月の町内会長交代を踏まえ、平成31年2月15日号広報上越配布に合わせ全戸配付を実施）。 ・現行取組の継続・強化。
13	名立区	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員協議会定例会（H30.11.26）の席で、見守り活動の趣旨を説明した。 ・高齢者に限定せず、障害者や子ども、課題を抱える世帯など地域全体を見守る方向で取り組むことが必要であることから、「名立区ひきこもり等支援機関情報交換会」を定期的及び必要に応じて開催することとした。 ・住民福祉会（任意団体）において、行政及び地域包括支援センター等が情報交換をしている。

平成30年度 高齢者等見守り支援に関する意見交換会 参加事業所一覧

(順不同)

No.	事業所名	事業所所在地
1	新潟サンリン(株)	合併前上越市
2	生活協同組合コープクルコ	合併前上越市
3	青木新聞店	三和区
4	ファンシーショップアミー	板倉区
5	農事組合法人みずほ	牧区
6	日本郵便(株)高田郵便局	合併前上越市
7	日本郵便(株)稲田郵便局 上越地区連絡会統括局	合併前上越市
8	J A えちご上越 介護サポートセンター	合併前上越市
9	損害保険ジャパン日本興亜(株) 長岡支店上越支社	合併前上越市
10	(有) 山田損保事務所	合併前上越市
11	上越市シルバー人材センター	合併前上越市

(裏面もご覧ください)

高齢者等見守り協力事業所による意見交換会での主な意見と対応状況

意 見	対 応 状 況
○市と協力事業所の連携（情報連絡等）の強化について	
<p>活動中に異変を察知して対応を行った場合の報告様式を市で作成し、ホームページに掲載してほしい。様式を示してもらえば、報告がしやすくなる。</p>	<p>報告様式を作成し、市のホームページ（高齢者等見守り支援ネットワーク事業）に掲載し、周知を行った。</p>
<p>新潟日報の配達事業者へは民生委員・児童委員の名簿を提供してもらっているので、他の見守り協力事業所にも提供することはできないか。</p>	<p>新潟県、新潟日報販売店会、県民生委員児童委員協議会が締結している「新潟県における地域の見守り活動に関する協定」に基づき、民生委員・児童委員の名簿が新潟日報販売店会に提供できていることになっているもの。他の見守り協力事業所については、異変察知時は市へご連絡いただき、市から民生委員、地域包括支援センター等へ連絡し連携する。</p>
<p>事業所が世帯を訪問する際などに活用できる市の啓発・周知チラシ等を定期的に市のホームページなどで配信してほしい。</p>	<p>市のホームページ（高齢者等見守り支援ネットワーク事業）に地域包括支援センターの周知チラシ等を掲載した。今後、協力事業所へ周知する予定。掲載チラシ等は適宜、更新していく。</p>
○市民へのPRについて	
<p>ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者の増加、孤立死の防止などを広報上越に掲載するなどして、地域における見守り活動の機運を高めていただきたい。</p>	<p>これまでは9月に広報上越でPRしてきたが、県高齢者見守り強化月間（9月及び2月）に基づき、平成31年2月の広報上越でも同様に周知し、内容的にも充実を図った。</p>